

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼児舎練馬高野台保育園
施設所在地	杉並区高円寺南4-26-16
事業者名	株式会社ピノコーポレーション

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園で育てたイチゴがジャムになっていく様子に子ども達が不思議を感じたことから身近な自然の不思議を探求し、考えを深めていけるようにしたいと考えたため。

2. 活動スケジュール

令和7年4月から令和8年2月

1～4か月目 自然に親しみをもち、興味を引き出し考える力をつける。

5～6か月目 疑問に感じたことをまとめて、探求心を深める。

7～10か月目 実際に自分の目で確認したり、自然に触れたりしてまとめたことを他学年に伝えることで達成感と学びの定着を図る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

活動に合わせてグループに分かれたり、各クラスで話し合ったりして子ども達が考えや表現を積極的に行えるようにしていった。野菜の浮き沈みでは、大きなプールで野菜や果物をを浮かべて実験をしたり、みかんができるまでを調べる時には実際に農園に行き、農家の方に質問し、収穫体験をして子ども達が目で見て自然に触れる経験ができるよう環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

今回は主に野菜や果物の性質を調べた。具体的には身近な野菜、果物を手に何が浮くか(沈むか)、どのような共通点があるのかを考えたり、みかんができるまでを調べて1枚の画用紙にまとめ、疑問に思ったことを農家の方にZOOMで質問したり、農園に行って収穫体験をすることで子ども達の興味、関心を深めることができた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

野菜の浮き沈みでは実際に野菜、果物を手にとり「重いから沈むかな?」「これは小さいから浮くでしょ」と興味をもって取り組むことができていた。みかんができるまでを調べる時には「みかんって土の中からでてくるんだっけ?」「木じゃない?」「1つの木に何個ぐらいできるんだろう」と疑問を子ども達同士で話、積極的に活動に参加することができていた。疑問や質問を直接農家の方に聞いたり、実際に農園に行って収穫体験することで自然をより深く学ぶことができていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが実際に疑問を感じたことからの取り組みだったので、積極的に子ども同士で話し合いを進め、聞きたいことをまとめることができていた。保育者が写真で伝えたり映像を見せるだけでなく、野菜や果物に触れて実験することで新たな疑問を感じたり調べてみようとする意欲的に取り組む姿が見られた。農家の方とzoomして話をすることで専門的な知識を得られ、農園で収穫体験をすることでより深く自然に興味をもち楽しんで活動できていたことが嬉しい。限られた環境の中でも出来ることはさまざまあり子どもたちの可能性を広げられる取り組みだったと感じる。